



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

2010 - 2011 年度テーマ

R.I. テーマ 「地域を育み、大陸をつなぐ」

R.I. 会長 Ray Klingensmith

地区ガバナー 上野 操

クラブテーマ 「楽しいクラブ、ためになるクラブで 25 周年を祝おう」

クラブ会長 古谷 輝彦



本日の卓話

「次世代リーダーを育てるコーチング」 (株)コーチエィ 原田大輔様
紹介者 斎藤彰悟君

2011年6月8日

第 1224 回例会

会長 古谷 輝彦
幹事 原田 毅

今後の卓話予定

6/15 「イニシエーションスピーチ」 新入会員 太田富美雄君・浜中 清君
紹介者 長沼君

6/22 クラブ協議会「今年度事業報告」

前回 (6/1 1223 回例会) の記録

来訪者紹介 (1223 回例会)

◆ゲスト 3名 北分区2011~12 ガバナー補佐 小林征夫様・分区幹事 野口昇兵様
分区副幹事 枝 幹雄様
◆ビジター 1名 東京北R.C. 森 茂男様

出席報告 (1223 回例会)

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
44名	1名	3名	37名	3名	92.5%	1221回例会修正 欠席4名・出席率90.00%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 <古谷会長>

- ・小林征夫次年度北分区ガバナー補佐、野口分区幹事、枝分区副幹事、当クラブへの訪問、心より歓迎いたします。
- ・次回6月8日例会は海外出張のため欠席いたします。海内次年度会長に代行をお願いしております。

幹事報告 <原田幹事>

- ・下期事業報告書の提出期限が残すところ1週間となりました。6月8日の期限厳守でお願いします。
- ・各委員会の引継ぎが行われていますが、まだの委員会は順次開催をお願いします。
- ・本日例会終了後、新旧合同理事・役員会を開催します。この場にお残り下さい。

委員会報告 <藤掛次年度幹事>

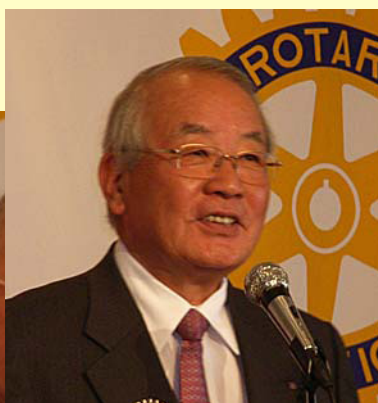
- ・次年度事業計画の締切は6月8日です。ワード又はエクセルのデータにて私のアドレスまでお送り下さい。

2011～2012

ガバナー補佐 小林征夫 様



北分区幹事 野口昇兵 様



北分区副幹事 枝 幹雄 様

ニコニコボックス

<会長、幹事、海内、長島、植木、藤掛>

- ・次年度ガバナー補佐の小林さん、分区幹事の野口さん、分区副幹事の枝さん、ようこそいらっしゃいました。

<長島、関原、岩戸、松本>

- ・今日は「炉辺会合発表」です。ロータリー情報委員会の長島さん、各グループのリーダーの方よろしく願いいたします。

<長島、浜中、太田、柘>

- ・がんばれ東日本被災地、がんばろう日本

<次年度ガバナー補佐 小林征夫様、次年度
分区幹事 野口昇兵様、次年度分区副幹事
枝 幹夫様>

- ・次年度どうぞよろしく願い申し上げます。

<上原>

- ・お誕生日のお祝いをして戴き、ありがとうございました。

<吉田(長) >

- ・結婚記念日、花籠をどうもありがとうございました。何回目かは不明です。よろしく。

<宮村>

- ・47回目です。50回まで頑張ります。

<小林(雅)、馬場、矢野>

- ・100%出席の表彰をして戴きまして誠にありがとうございました。

<長島>

- ・ゴルフ同好会に於いて思いがけず優勝することが出来ました。これからも永遠のライバル、上原洋チャンに負けないうガンバります。

<植木>

- ・一昨日、7人目の孫が生まれました。

<植木>

- ・長沼さん、昨日の委員会引き継ぎでは、貴重な資料をお預かりし、ありがとうございました。

第1223回ニコニコ金額

36,000円

今年度ニコニコ累計額

1,575,500円



炉辺会合グループ発表



【Aグループ】

(日 時) 4月27日(木)

(出席者) 齋藤、小林(博)、宮村、渡辺、吉田(長)、原田

1. 経営者として、東日本大震災にいかに対応したか
 - ・今後の震災対策は、企業としては個別対応とならざると得ないが、クラブとして義援金を出す以外になにかやる可能性があるか議論した。義援金は東北のクラブに送金されたが、現地ではどうしていいかわからず、各行政区に配ってしまったらしい。やはり自分のクラブで企画して、自ら支援するようなことをやっていくべきだ。
 - ・義援金の集め方は無記名にすべきだ。理事会決定だから従わざるを得ないが、ニコニコから義援金を出すのは問題だ、という意見も出た。
2. 会員増強について
 - ・Aグループより候補も7人くらい出ているが、すべてまだ目途が立たない状況。
 - ・ドイツがメンバーを増やしている。方法としてロータリーの友をはじめ、色々と地域に活動を開放している。その仕組み作りをしなければいけない。
 - ・1業種1会員という面を生かし、人としてのプライドを刺激する。各業種毎にあらいなおす。

・ロータリーのしおりを個別DMする。
などの対策をもって会員増強をしていく。

炉辺のグループは来期も今のままでも良い。
各グループで競い合って表彰しても良い。

【Bグループ】

(日 時) 4月26日(火) (会場) 酒の大枡ワイン館

(出席者) 古谷、小林(雅)、田村、植木、長沼、長島、永井、馬場、加藤

当クラブとして被災地に対し、義援金だけではなく直接なにかできないか、何が必要か現地へ行ってその声を聞き、ボランティアをしようではないか。また親を失った子供達のために、里親というか交換留学生を預かるのと同じように、会員が数ヶ月間子供を預かり生活の面倒を見てあげようではないかその意見が出されました。

会員増強については、各自それぞれが努力されているが、この社会状況の中、候補者はいるがなかなか入会してくれないとのこと。そんな中、植木会員より有力な候補者が5名程いるとのこと。かなりの確率で入会してくれるのではないかとのことでした。

古谷会長より会員増強は今回限りのテーマではなく、常に会員増強に努め考え行動してほしいとのことでした。





【C グループ】

(日 時) 4月25日(月) (会場) 築地 魚蟹屋

(出席者) 岩戸 (リーダー)、上原、長島、大塚、古谷、上野、井田、関原、伊石、太田、藤掛

1. 東日本大震災に対し企業経営者としていかに対応し、企業管理されたか、すべきか。

要約すると次の2点に絞られる。

(1) 3月11日の被災時の状況と、その対応、そしてご自身の事業が受けたダメージ。そこから導き出された教訓等々、天変地異という同じ体験をした中でそれぞれの危機管理について話し合われた。

(2) ロータリアンとして、またクラブとして、何をなすべきか。ただお金だけではない、被災地に対して本当に自分たちの気持ちを届けたい。被災地の惨状を目の前にしてとにかく行動を起こさなければ。でも、間口が広すぎる、とにかく糸口をつかめないか、等々ロータリアンとしての思いが語られた。

上記2点についてポイントをまとめてみる。

(1)について

①困っている時こそ助け合い。共存共栄。

零細企業に対してはこちらから家賃の30%カットを提案。少しでもテナントの負担の軽減を図る。大手のテナントに対しては逆に家賃を下げない。

②同業者との日ごろの関係づくりが功を奏する。

この様な時は、小規模の会社は干されてしまう。その時頼りになったのが同業者。日頃良い関係を持っていた為、仕入れコストは高いが仕入れることができた。全く商品を切らすことがなかった。

③新しい商品供給ルートの開拓。

ある会社の仕事を引継ぐこととなり、その事業がちょうど軌道に乗ってきたところであった。その商品は、被災した東北から仕入れている商品と同じものだが、ルートが違うため全く

欠品騒ぎになるようなことがなかった。

④ロータリアン、クラブのメンバーから仕入れいる。
クラブのメンバーから商品の供給を受けていたので融通を聞かせてくれ商品を切らすことがなかった。

⑤自転車は人力で限界がある。2輪車は機動力がある。是非バイクをお店に一台。

⑥災害伝言ダイヤルを活用しよう。

入れるとき 171-1-自分の番号

聞くととき 171-2-自分の番号

⑦ベトナムでの生産を視野に入れる。

中国で物作りをしているが、放射能の影響で、コンテナごと送り返される。いづれベトナムでの生産を視野に入れ、中国偏重のリスクを回避する。

⑧雇用調整助成金を活用する。

⑨拠点を分散させることで災害のリスクを分散させる。

⑩災害時には社員を帰宅させない。

会社に泊まることを前提に災害用品など準備する。

その他感想として

*危機であるがチャンスでもある。ピンチはチャンス。

*震災の影響が直接ないという人でも間接的に必ずじわじわと影響が出る。

*社員を守る体制について机上で考えていたことが役立たなかった。

*町会が防災計画を立てているが約4000名いる旅館の泊り客を考慮していない。

*区の無料耐震診断を受ける。

(2)について

①政治家は、未曾有のと言い、学者は想定外と言っていけば良い。ロータリアンはクイックアクションだ。今できることを例会にて徹底的にディスカスする。

②石原軍団も泊まり込みで支援をした。とにかく行動を起こす。まずは、リサーチをし、糸口をつかみ、有志で支援活動を始める。まずは有志で行ってみる。

③ロータリーには交換留学生のノウハウがある。このノウハウ使い、被災地の子供たちをホームステイさせる。

④お金、物ではなく、心を届ける。被災地の子供たちを招待してパンダを見せる。

⑤かりんとう、これは栄養がある。被災地にか

りんとうを送り元気を出してもらおう。みんなで黄色いジャンパーを着てかりんとうを持って、被災地の方々に元気を届けよう！

2. 会員増強、継続的な活動認識の持続、今後の増強について。

1.の災害時の危機管理に約1時間以上が使われた。増強についても約1時間くらいの時間であったが、上記(2)「ロータリアンとして、またクラブとして、何をなすべきか。」についての話はこの会員増強の時に話が出たため実質的な会員増強にさかれた時間は30分くらいであったろうか。

以下、ポイントのみをまとめた。

- ① 委員会依存の増強ではなく、全員が増強委員、クラブぐるみでの増強。
- ② 単年度ではなく2年、3年がかかりで取り組む。来年、再来年につなげてゆける運動をする。
何もしなければ間違えなく減ってゆくのが現状です。
- ③ ピンポイントで攻める。
- ④ 3年、4年がかかりで誘っても反応が鈍い人は諦める。

その後、具体的な方々の名前が出て増強の可能性が図られた。



【Dグループ】

1. 東日本大震災について

- ・反省点：当日、社員を帰宅させたが交通手段がないため、会社に待機させるべきであった。
- ・今後、最悪の状況を考えて装備することが必要（停電、真冬、ヘルメット、水、ラジオ、懐中電灯など）。また最悪の状況になった時どこに避難するかも決めるべき。
- ・毛布・食料・水 40000本・ガソリンなど被災地に届けた。
- ・がんばれ日本で自粛自粛ではいけない、日本の経済や足腰がだめになる。

2. 会員増強について

- ・新入会員が加わるとクラブの活気と緊張感が生まれる。
- ・会員増強は1年単位では無理、3年単位で行うべき。量より質、ステータスは落とすべきではない。
- ・一業種一人のメリットを生かすべき。相互の仕事、相互の利益。
- ・会員卓話の推奨、特に新入会員は先輩会員がどのような業種で、どのような特色ある仕事なのか分からない。



【Eグループ】

(日 時) 4月27日(水) (会場) 辻むら

(出席者) 中村、本、片岡、古谷、笹生、浜中、矢野、長堀、松本、藤田、折原、潮田

1. それぞれの会員から、その時の状況、対処について話があった。
2. 何をすべきか？
 - ・会社として、備蓄、工具を用意する。
 - ・仏教会で30億の寄附
 - ・売上の風評被害
 - ・貸し主と借り主の関係、耐震補強
 - ・台東区飲食店 肉をもって炊き出しに行く。
 - ・東商青年部 子供に喜ばれる漫画を持っていく。
 - ・ロータリとして何が出来るか。当クラブでも実際に現地に行く活動。商品の提供。
 - ・津波による被害。地域の人々のよりどころ。
 - ・仮の社殿。祠の改修への協力。
 - ・シェルターボックスのような協力方法でできないか。
 - ・原発の問題。地震だけではない。
 - ・電気の重要さ
3. 増強について
 - ・案内の発送
 - ・退会会員への再アタック